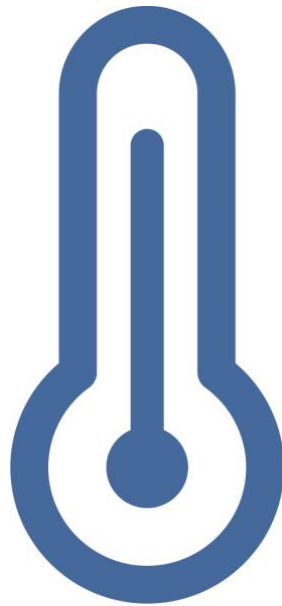


ZETA 温度センサー ユーザーマニュアル



改訂履歴

版数	改訂年月日	改訂内容
初版	2021.07.06	初版

目次

はじめに.....	4
ご使用前のおことわり.....	4
安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	7
1.製品概要.....	9
2.機能説明.....	9
3.製品の特長.....	9
4.セット内容.....	10
5.各部の名称.....	11
6.電源オン.....	12
6.1 事前準備.....	12
6.2 手順.....	12
7.設置方法.....	14
7.1 両面テープを使用して設置する.....	14
7.1.1 事前準備.....	14
7.1.2 設置手順.....	14
7.2 ネジを使用して設置する.....	17
7.2.1 事前準備.....	17
7.2.2 設置手順.....	17
7.3 ケーブルタイで設置する.....	22
7.3.1 事前準備.....	22
7.3.2 設置手順.....	22
8.センサープローブの設置.....	27
8.1 事前準備.....	27
8.2 設置手順.....	27
9.デバイスの設定.....	30
9.1 ZETA Server 管理画面の設定方法.....	31
9.2 アプリケーション管理.....	33
9.2.1 資産運用情報の登録.....	33
9.2.2 設定変更.....	35
9.2.3 資産状況.....	38
10.主な製品仕様.....	40
11.トラブルシューティング.....	41
12.アフターサービス.....	42



はじめに

ご使用前のおことわり

- 本書の著作権は株式会社テクサーに帰属します。
- 本書の内容を無断で転載や複製しないでください。
- 記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の記載の誤り等についての補償はご容赦ください。
- 常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますが、ご了承ください。
- 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったことによって生じた故障や不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 停電や電力線上のノイズ等の外部要因、または天災や原因不明のネットワーク障害、その他の不可抗力によってお客様または第三者が受けられた損害(データの損失、その他の直接的、間接的な損害)、またはそれらによって生じた故障、もしくは不具合については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使い方を誤った場合や、静電気や電氣的ノイズの影響を受けた場合、または故障、修理の際は、記録内容が変化したり、消失したりする恐れがあります。
- 本製品は屋内専用です。本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。
- 記載の社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します。

 警告	取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定されるもの
 注意	取扱を誤った場合、使用者が傷害 ^(※2) を負うこと、または物的損害 ^(※3) の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒等で後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電等を指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペット等にかかわる拡大損害を指します。

警告

本製品の使用について

- 人命に関わるような用途（医療機器、宇宙機器、航空機等、きわめて高い信頼性の要求されるもの）でのご使用は避けてください。
- 輸送機器（列車、自動車、船舶等）の制御など、安全性に関わるものでのご使用は避けてください。
- 本製品を絶対に修理、改造、分解をしないでください。
- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。
- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息

するなど、ケガの原因となることがあります。

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 本製品の品質レベルは、一般用途（コンピュータ、OA機器、FA機器、通信機器、計測機器、AV機器等）に限られます。

電池の取り扱いについて

- 電池は乳幼児やペットが飲み込まないように手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- 正極端子に過剰な力をかけないでください。ガラスシールが損傷し、漏液および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 電池を落下させないでください。電池を落下させた場合、ガラスシールが損傷し、漏液および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 電池に端子やリード線を直接溶接しないでください。はんだ等の溶接の熱により、金属リチウムを溶融するほどの危険な高温度になり、電池の変形、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。はんだ付けが必要な場合は、端子付きあるいはリード線付き電池の端子やリード線に手はんだしてください。こて先温度は350°C以下、はんだ付け時間は5秒以内で、なるべく短時間にしてください。はんだ浴の場合、浴上で停滞したり、浴内に落下したりする可能性がありますので、当社にご相談ください。なお、過剰にはんだを付けますと、余分なはんだがプリント基板上に回りこみ、電池をショートさせたり、電源ラインと接続した電池が充電されるおそれがありますので、ご注意ください。
- 電池をショートさせないでください。電池の（+）極と（-）極を針金等で接続したり、電池を金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れて、電池の変形、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 電池を充電しないでください。この電池は充電できません。充電するとガスが発生したり、内部ショートが生じて、電池の変形、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 強制放電しないでください。外部電源や他の電池により電池を強制放電すると電圧が0V以下になり、電池内部でガス発生して電池の変形、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 電池を加熱しないでください。100°C以上に加熱すると電池内圧が上昇し、電池の変形、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 電池を火の中に投入しないでください。火の中に電池を投入すると金属リチウムが溶融して電池は激しく破裂、発火します。
- 電池を分解しないでください。電池を分解すると刺激性・腐食性のガスが発生します。また、金属リチウムが発熱して発火する原因となります。
- 電池を加圧変形させないでください。電池の変形は、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスの発生原因となります。
- 機器に電池を挿入する際に、電池を逆に挿入しないでください。電池が充電されたり、ショート等で異常反応を起こして、電池を変形、漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 電池を混用しないでください。新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池等を混ぜて使用しますと、特性の違いから、電池を変形、漏液、発熱、破裂、発火および刺激性・腐食性ガスを発生させる原因となります。
- 電池から出た液体に触れないでください。電池の液が目に入ったときは、目に傷害を与える原因となりますので、こすらずに多量の水道水等のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。電池の液が口の中に入ったり、唇に付着した時は、すぐに多量の水道水等のきれいな水で

うがいをして医師に相談してください。

- 電池を皮膚に固着させないでください。テープ等で、電池を皮膚に固着させると、皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池の使用について

- 電池の取り付け・取り外しおよび廃棄
 - (1) 電池を装置に取り付ける場合は (+) 極が上、もしくは横向きになるように設置してください。正極活物質である塩化チオニルは液体ですので (+) 極が下になると塩化チオニルが偏在し、使用電流が大きい場合には所定の性能が得られないことがあります。
 - (2) 使用しなくなった機器からは、電池を取り外して廃棄してください。電池を接続したままにしておくと、万一、電池から液漏れした場合に刺激性・腐食性の高いガスが発生する恐れがあり危険です。
 - (3) 異常時において封止部が損傷した場合、内部から腐食性・導電性の電解液が流出する恐れがあります。

電池の保管について

- 電池を保管する場合は直射日光、高温、高湿の場所を避け、雨水等のかからない所に保管してください。

電池の廃棄について

- この電池を廃棄する際は、電池 1 個毎に (+) 極と (-) 極を絶縁性テープで絶縁し、所在地の市町村が指示する分別ルールにしたがって「使用済みリチウム電池」として廃棄してください。

注意

- 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。
- 通電中は、濡れた手で基板や接続ソケット等に触らないでください。感電の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。身体等からの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。
- 内部や各種コネクタ一部に水が入らないようご注意ください。故障の原因となります。
- 結露しない環境でご使用ください。故障の原因となります。
- 油煙、粉塵のない環境でご使用ください。故障の原因となります。
- 強電界、強磁界の発生する環境での使用は避けてください。故障の原因となります。
- 動作・保存温度、動作・保存湿度範囲内で使用してください。故障の原因となります。
- 腐食性ガス等のない環境で使用してください。故障の原因となります。
- 振動、衝撃の少ない環境で使用してください。故障の原因となります。

- 本製品を廃棄する時は、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

使用上のご注意

電波法/電気通信事業法に関するご注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク ㊞ 」が本体内部貼付のラベルに印字されております。
- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効になった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

電波干渉に関するご注意

- 本製品の使用する周波数帯では電子レンジ等の産業、科学、医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等が運用されています。本製品の使用前には、近くに上記に該当する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、本製品と上記に該当する他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の使用を停止してください。

結露(つゆ付き)に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
 - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
 - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
 - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2～3時間程度室温で放置し、付着した水滴がとれるまでお待ちください。

1.製品概要

本製品は、ZETA規格の無線通信を行う温度センサーです。
外付けの高精度温度センサー（センサープローブ部）を設備等に取り付けることにより、設備の表面温度を検出できます。
検出した温度は接続したZETA Serverに送信されます。

2.機能説明

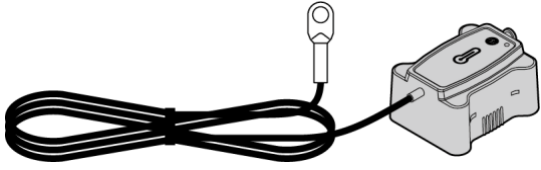
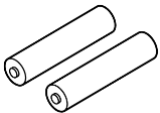
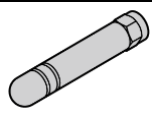
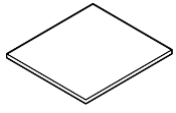

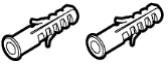
パイプやモーター等の施設内の温度を監視します。

3.製品の特長

本製品の特長は以下のとおりです。

- ワイヤレスで通信し、電池で動作するので配線が不要です。
- 付属の単3形ER14505（塩化チオニルリチウム）電池2本によって、超低消費電力で動作します。
- 高感度のセンサーを簡単に設置できます。
- 正確な測定結果がリアルタイムで送信されます。

4.セット内容

パーツ	数量	図
温度センサー	1 台	
ER14505 電池(単 3 形) ※本体取り付け済み	2 本	
アンテナ	1 本	
両面テープ(強粘着タイプ)	1 枚	
セルフタッピングネジ(M3×20)	2 本	
アンカープラグ(ドリル径 4mm)	2 本	
クイックガイド	1 枚	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">クイックガイド ド</div>
保証書	1 枚	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">保証書</div>

※市販の単 3 形アルカリ電池 (1.5V) はご利用いただけません。
 ※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

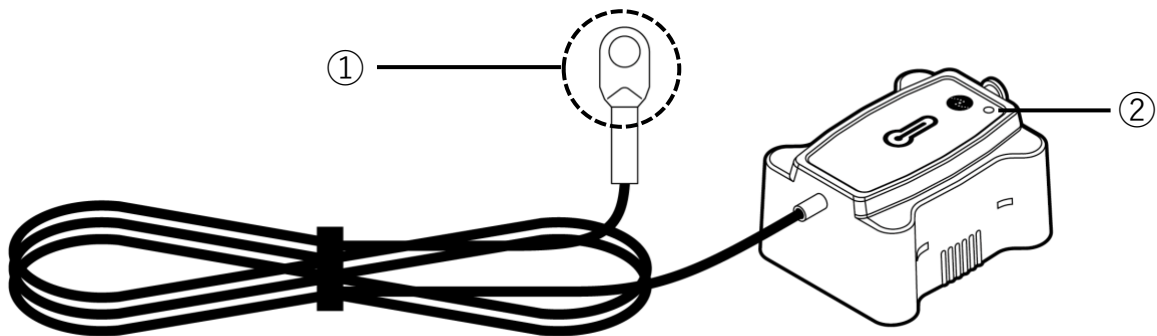
5.各部の名称

本体（表側）

- ① センサープローブ部
- ② ランプ

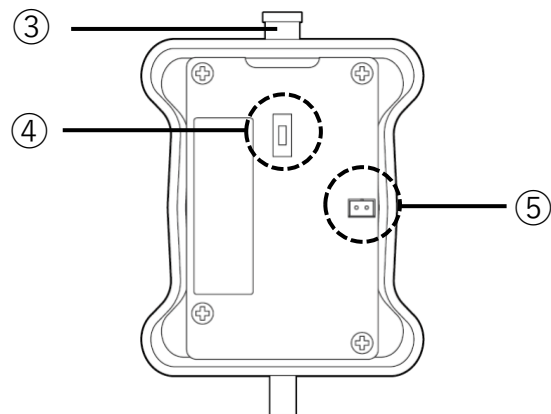
以下のときにランプが点灯します。

- ・ アクセスポイント検索時(2秒ごとに1回点灯)
- ・ アクセスポイントへの接続成功時(0.5秒ごとに1回点灯を5秒間繰り返す)
- ・ 作動中(1分ごとに1回点灯)



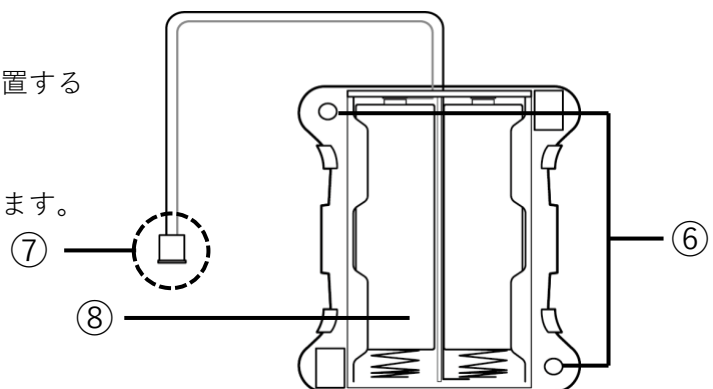
本体（内側）

- ③ アンテナソケット（保護キャップ付き）
- ④ 電源スイッチ
センサーの電源のON/OFFができます。
- ⑤ 電源ソケット
電池ボックスのコネクターを接続します。



電池ボックス

- ⑥ ネジ取り付け穴
セルフタッピングネジを使用して設置する
場合に使用します。
- ⑦ コネクター
本体内部の電源ソケットに差し込みます。
- ⑧ 電池



6.電源オン

本製品の電源をオンにします。

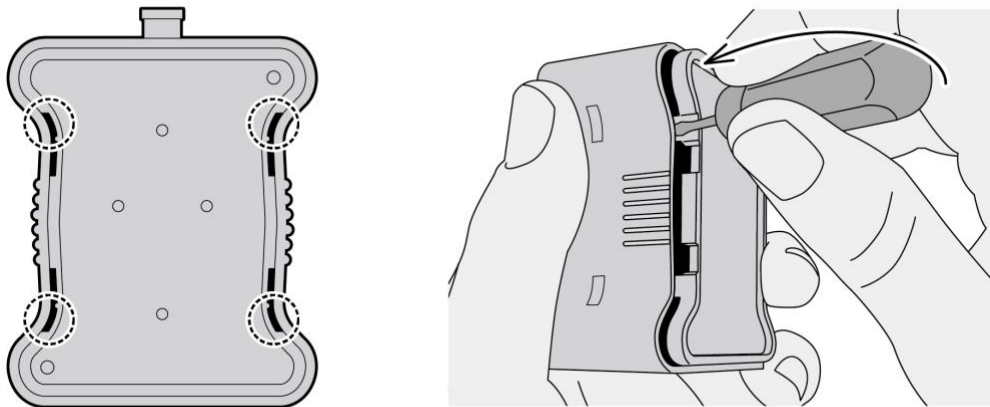
6.1 事前準備

下記の工具を用意してください。

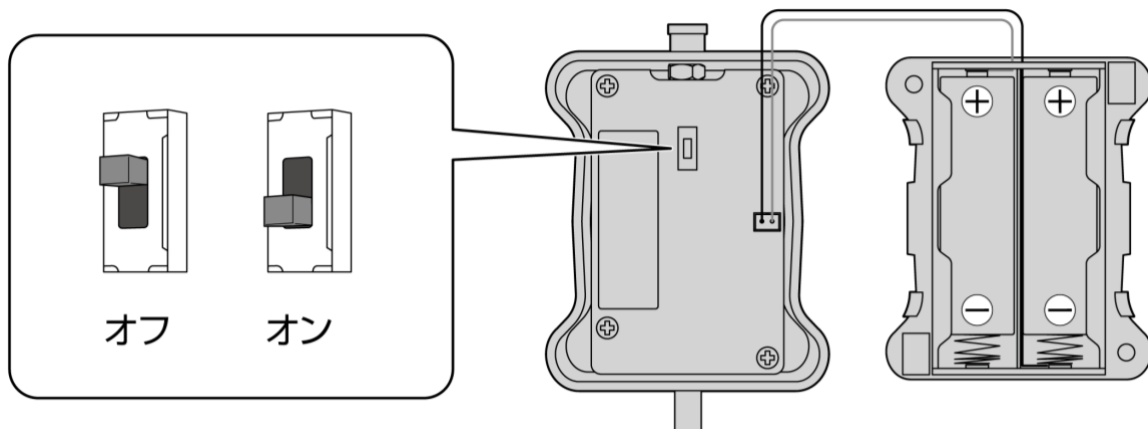
工具(市販品)	マイナスドライバー
---------	-----------

6.2 手順

- ① マイナスドライバーを使って、本体裏面の穴に差し込み、電池ボックスを開けます。



- ② 本体内部の電源スイッチをオンにし、電池ボックスを再度取り付けます。



※電池の交換・取り付けの際には、上図の向きで電池を取り付けてください。
※市販の単3形アルカリ電池(1.5V)はご利用いただけません。

7.設置方法

本製品は以下のいずれかの方法で設置してください。

- 両面テープを使用して設置する
- ネジを使用して設置する
- ケーブルタイを使用して設置する

7.1 両面テープを使用して設置する

7.1.1 事前準備

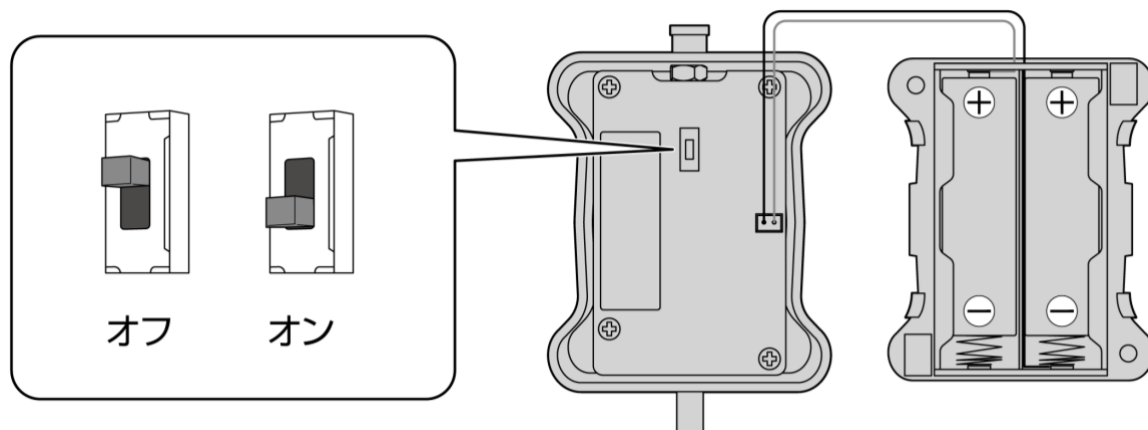
下記の設置用部品と工具を用意してください。

設置用部品(付属品)	両面テープ (強粘着タイプ)
工具(市販品)	マイナスドライバー

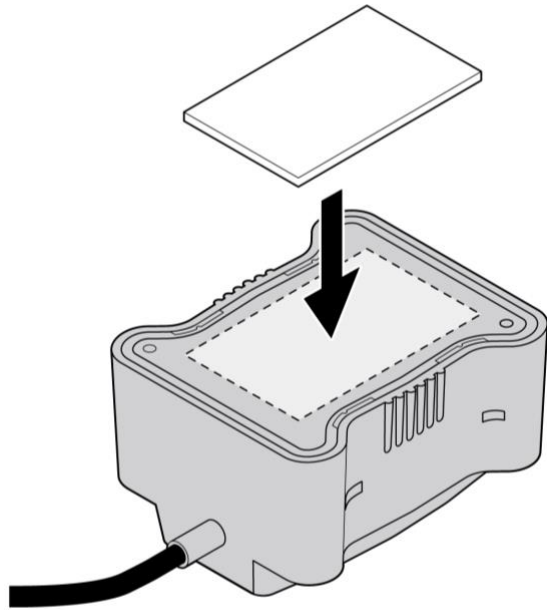
※設置にはドライバーなどの工具(別売)が必要となります。
※設置作業については自己責任となります。設置によって生じた問題について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

7.1.2 設置手順

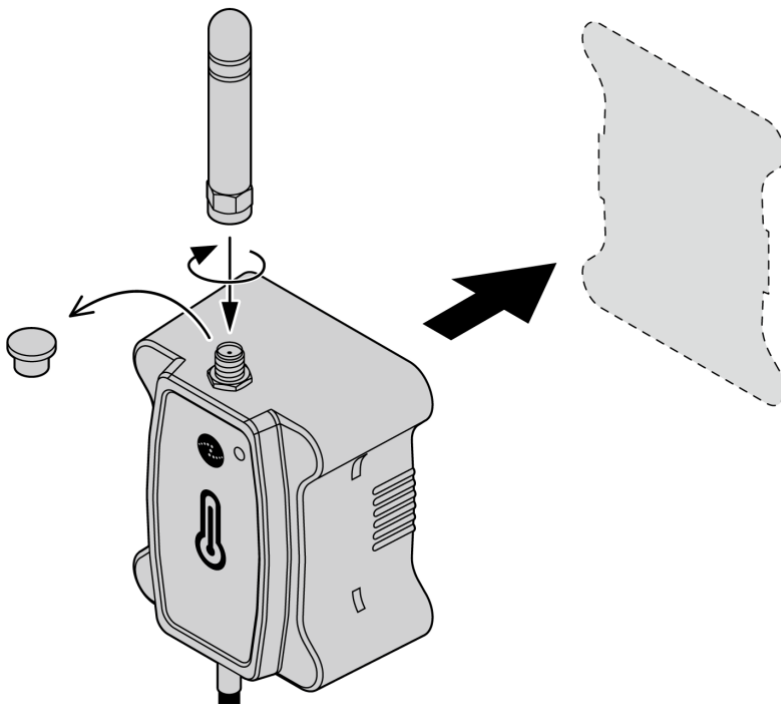
- ① 「[6.電源オン](#)」を参照し、本体内部の電源スイッチをオンにします。



- ② 付属の両面テープを電池ボックスの底面に貼ります。



- ③ 両面テープのはくり紙をはがして壁面等に取り付けます。保護キャップを外してアンテナも接続します。



※電池の(+)極が上になるように設置してください。

7.2 ネジを使用して設置する

7.2.1 事前準備

下記の設置用部品と工具を用意してください。

設置用部品(付属品)	セルフタッピングネジ×2 アンカープラグ×2
工具(市販品)	ドリル(ドリル径 4mm) ハンマー マイナスドライバー プラスドライバー

※設置には、ドライバーやドリル等の工具（別売）が必要となります。

※アンカープラグを使用する場合は、壁面への穴あけが必要となります。

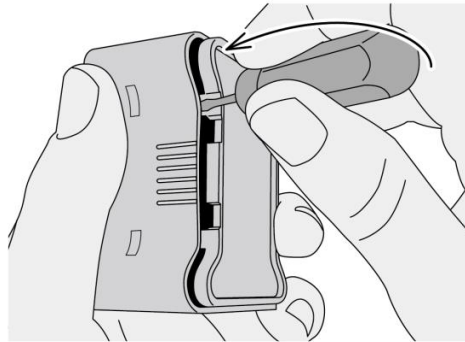
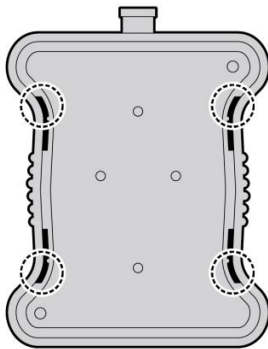
※壁面の素材によって設置方法が異なりますのでご注意ください。

※壁面素材がわからない場合は、施工業者や管理会社等にお問い合わせください。

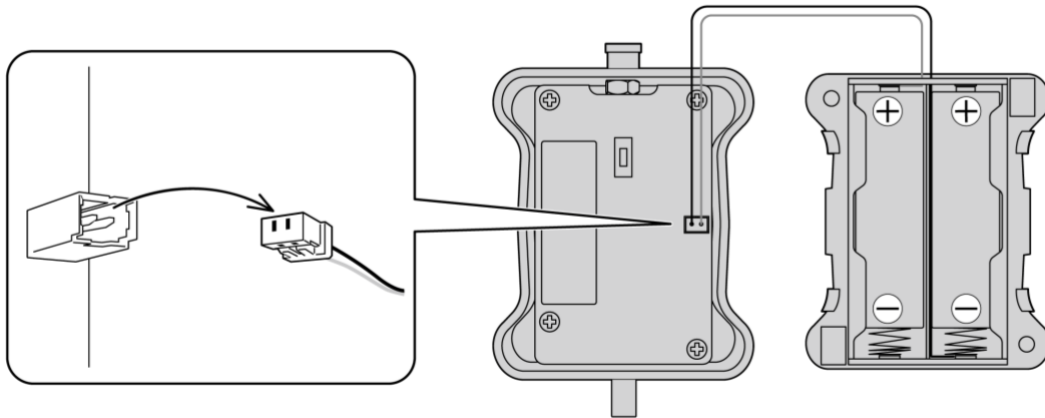
※設置作業については自己責任となります。設置によって生じた問題について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

7.2.2 設置手順

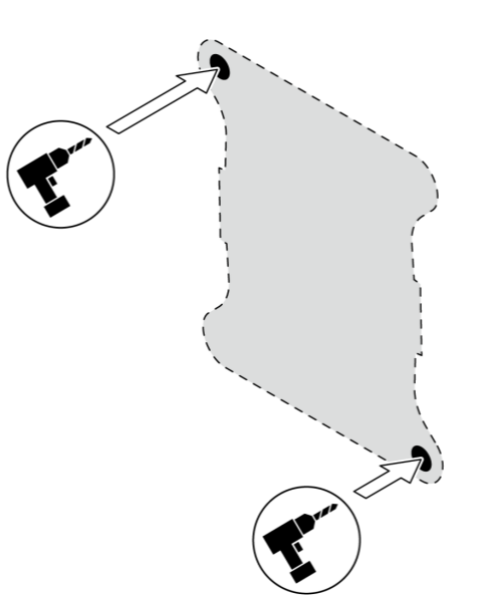
- ① マイナスドライバーを使って、本体裏面の穴に差し込み、電池ボックスを開けます。



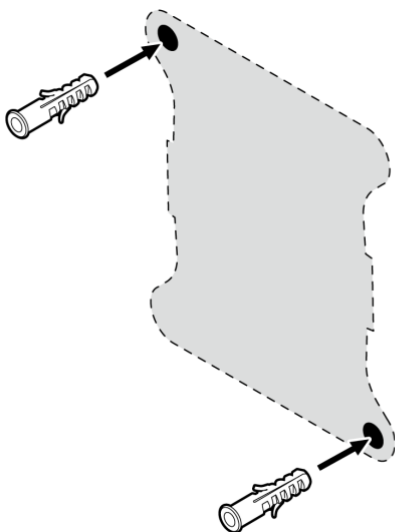
- ② 本体内部の電源ソケットから、電池ボックスのコネクターを外します。



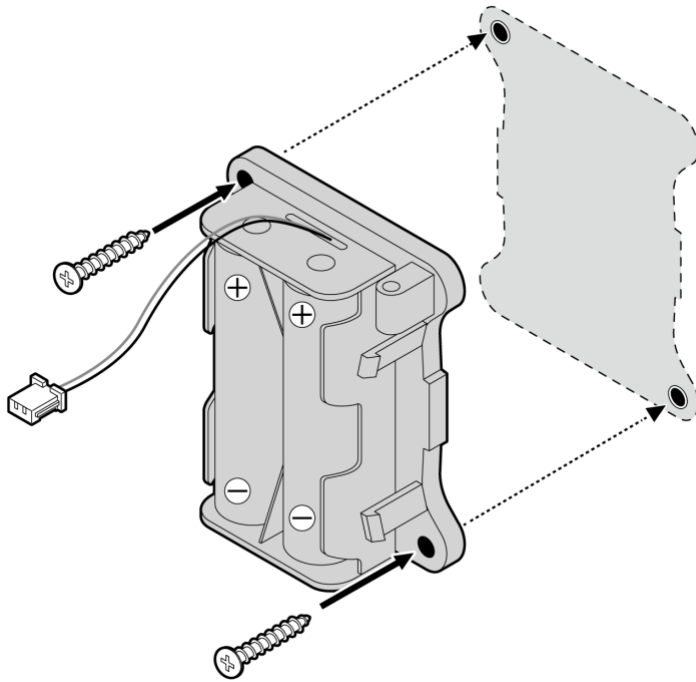
- ③ 端末を取り付ける壁面の位置を決め、電池ボックスのネジ取り付け穴の位置にドリル(ドリル径4mm)で穴を開けます。



- ④ ドリルで開けた穴にアンカープラグを差し込みます。アンカーが入らない場合はアンカーをハンマーで軽く打ちます。

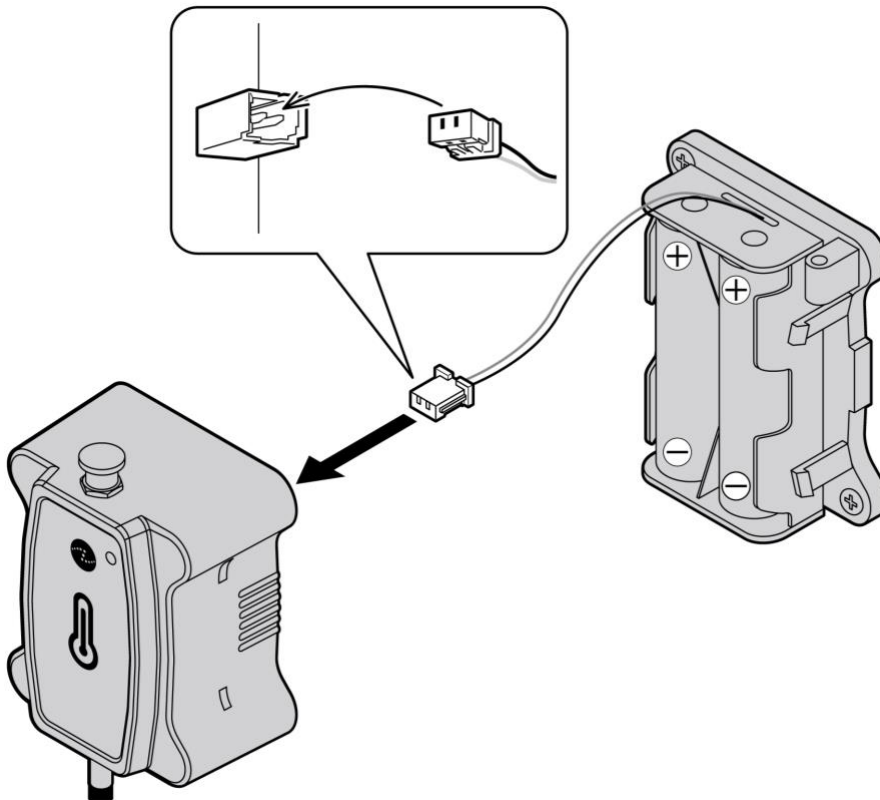


- ⑤ プラスドライバーを使用して、電池ボックスをセルフタッピングネジで固定します。

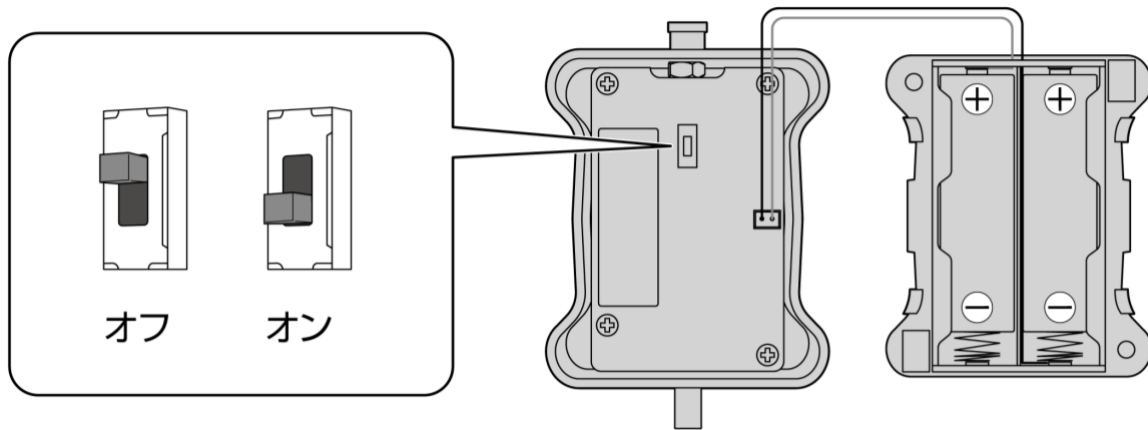


※電池の(+)極が上になるように設置してください。

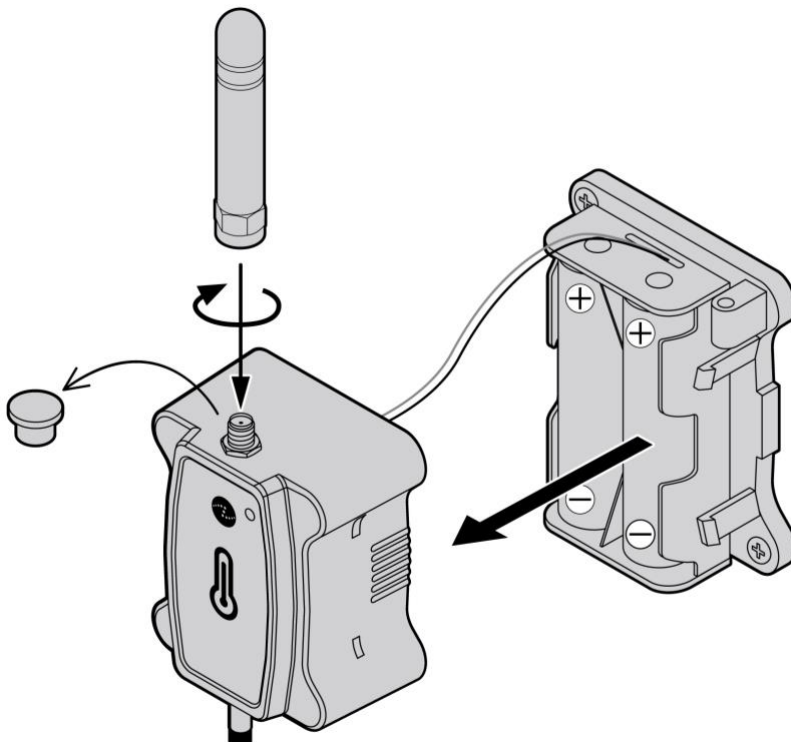
- ⑥ 電池ボックスのコンネクターを本体内部の電源ソケットに再度接続します。



- ⑦ 「[6.電源オン](#)」を参照し、本体内部の電源スイッチをオンにします。



- ⑧ 本体に電池ボックスを取り付けます。保護キャップを外してアンテナも接続します。



7.3 ケーブルタイで設置する

7.3.1 事前準備

下記の設置用部品と工具を用意してください。

設置用部品(市販品)	ケーブルタイ
工具(市販品)	マイナスドライバー

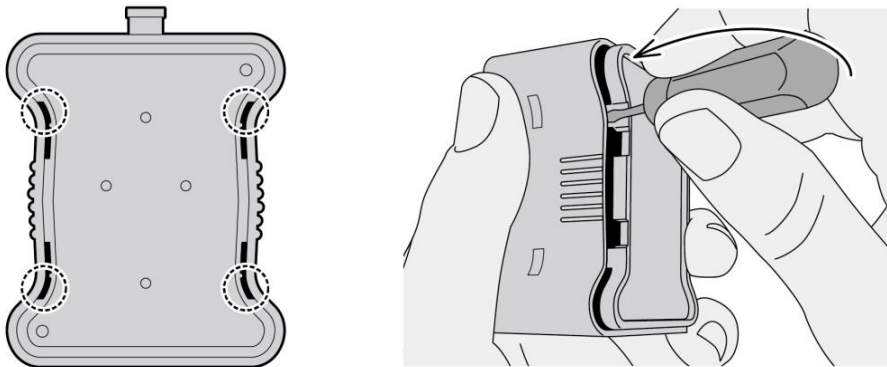
※ケーブルタイは薄い金属製タイプを推奨します。

※設置にはドライバー等の工具(別売)が必要となります。

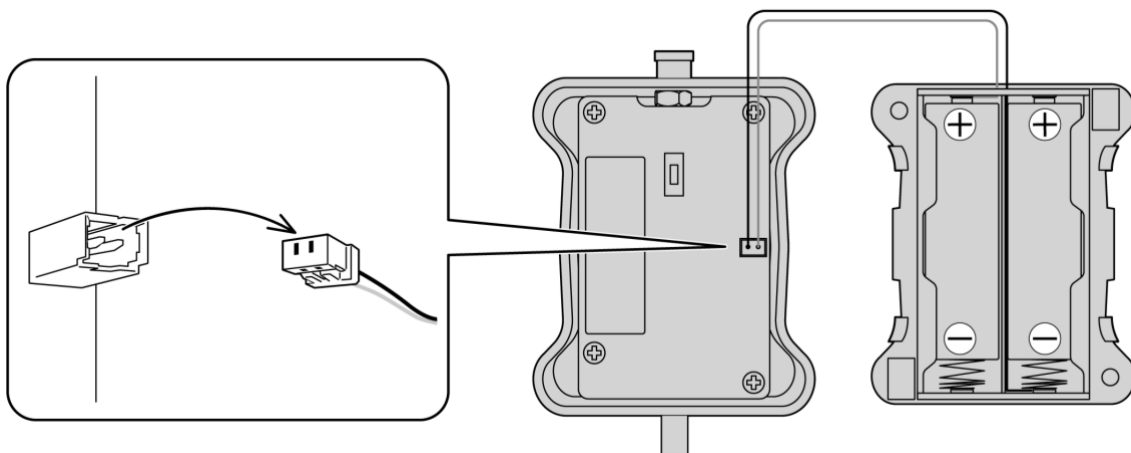
※設置作業については自己責任となります。設置によって生じた問題について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

7.3.2 設置手順

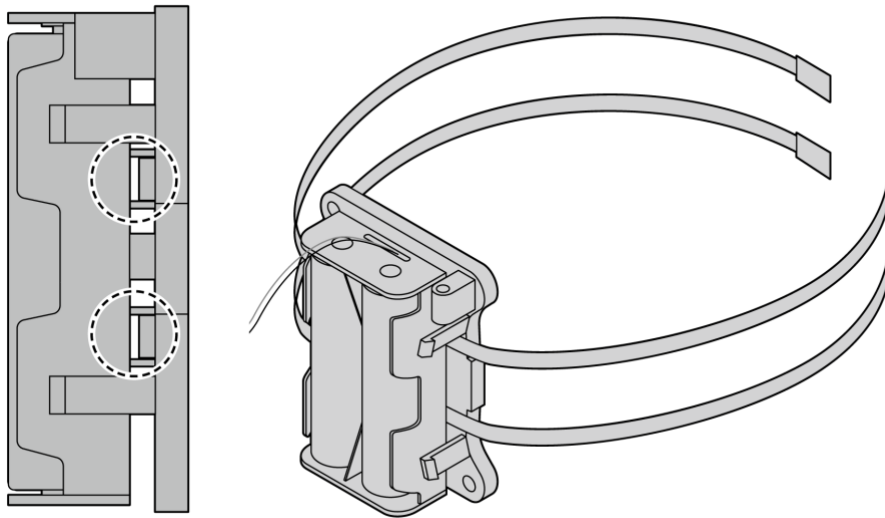
- ① マイナスドライバーを使って、本体裏面の穴に差し込み、電池ボックスを開けます。



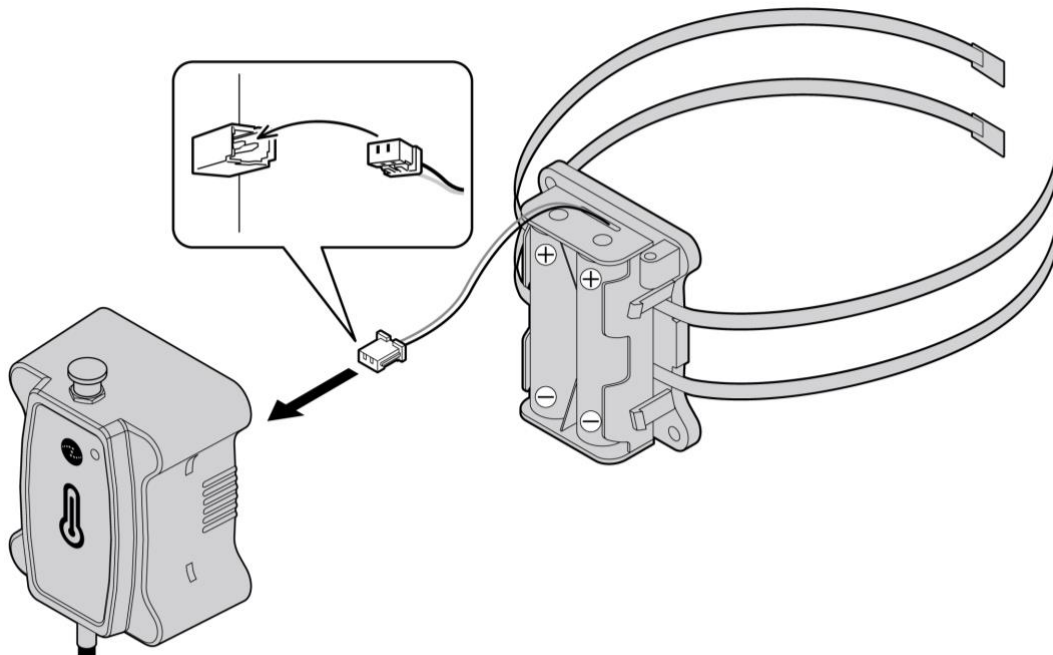
- ② 本体内部の電源ソケットから、電池ボックスのコネクターを外します。



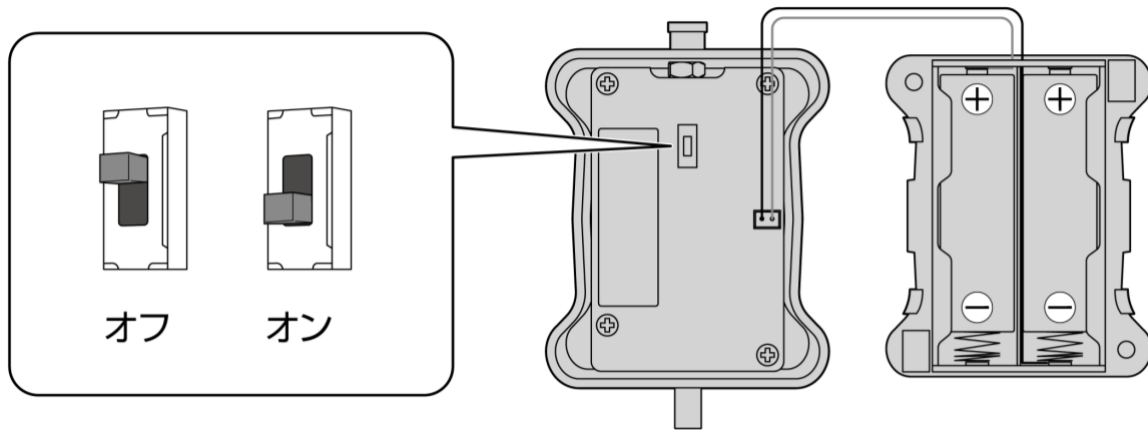
- ③ 電池ボックス側面の 2 箇所の穴にケーブルタイを通します。



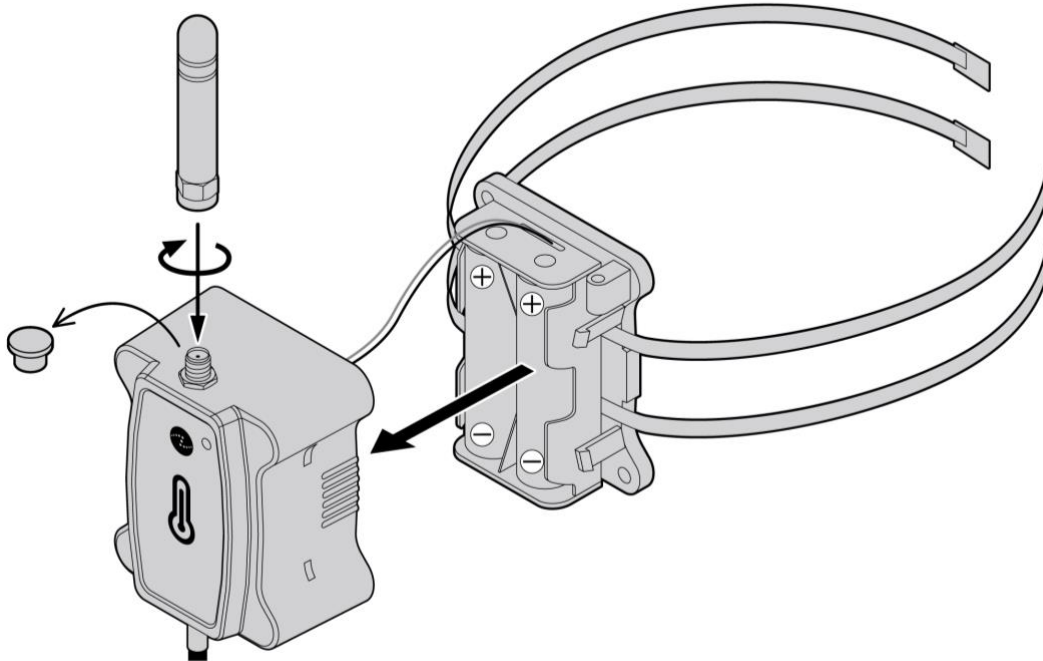
- ④ 電池ボックスのコネクターを本体内部の電源ソケットに再度接続します。



- ⑤ 「[6.電源オン](#)」を参照し、本体内部の電源スイッチをオンにします。

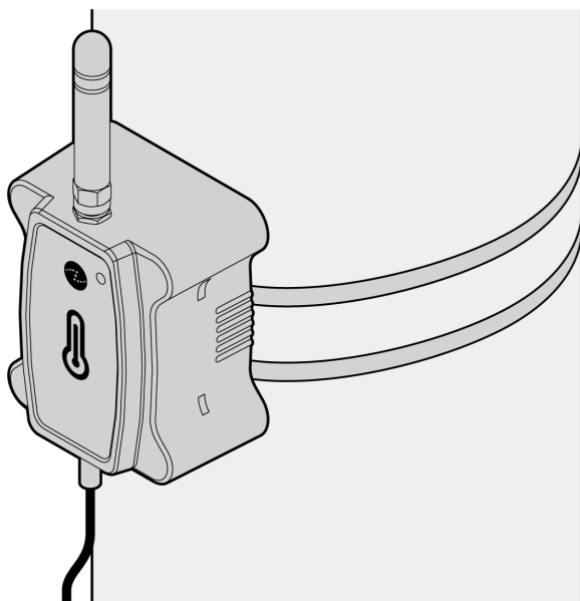


- ⑥ 本体に電池ボックスを取り付けます。保護キャップを外してアンテナも接続します。



※電池の(+)極が上になるように設置してください。

- ⑦ ケーブルタイを支柱等に取り付けて固定します。



8. センサープローブの設置

温度を測定するセンサープローブ部を設置します。

8.1 事前準備

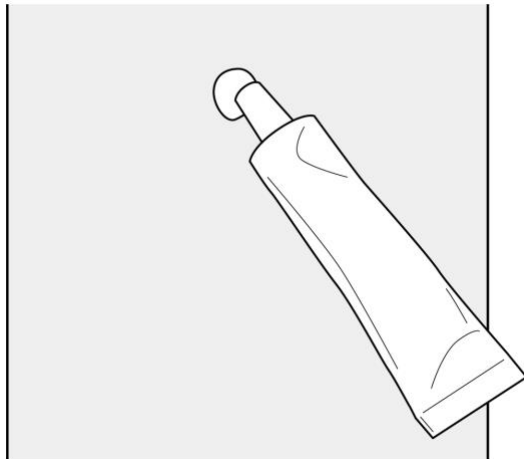
下記の設置用部品を用意してください。

設置用部品(市販品)	熱伝導性シリコングリス ケーブルタイ 断熱シート
------------	--------------------------------

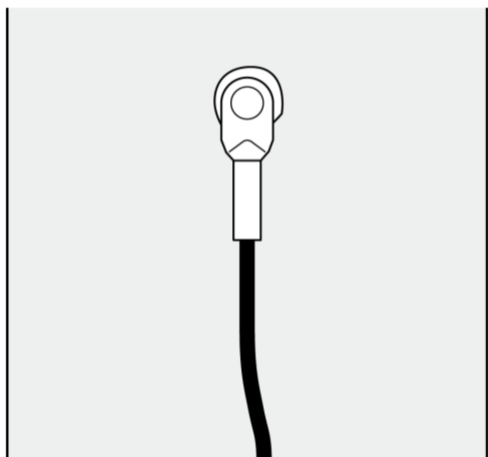
※設置作業については自己責任となります。設置によって生じた問題について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

8.2 設置手順

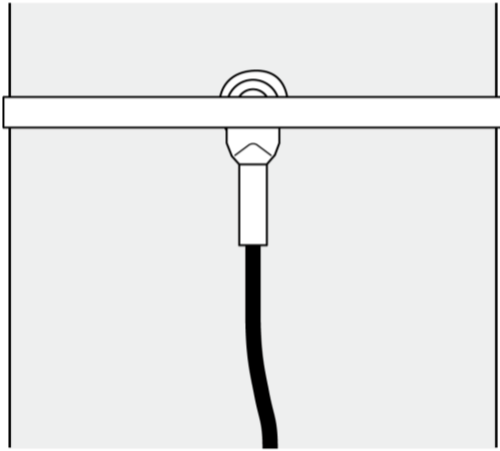
- ① 測定箇所の汚れ、水分、油分等をあらかじめ十分にふき取ってください。
- ② 測定箇所に熱伝導性シリコングリスを塗ります。



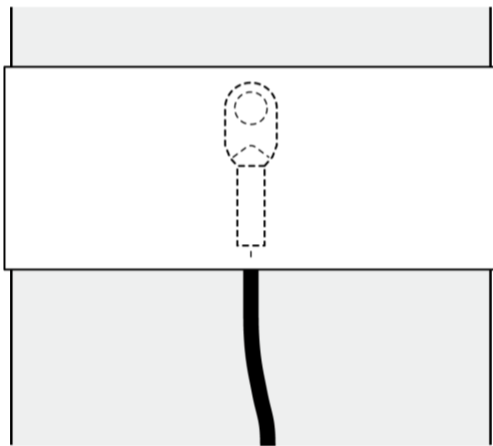
- ③ センサープローブを測定箇所に取り付けます。



- ④ ケーブルタイなどでセンサープローブを固定します。
※センサープローブ部はケーブルタイを使用せず、ネジで固定することもできます。ネジを使用する場合は、設置面にドリルで穴を開ける必要があります。



- ⑤ 断熱シートでセンサープローブを包みます。

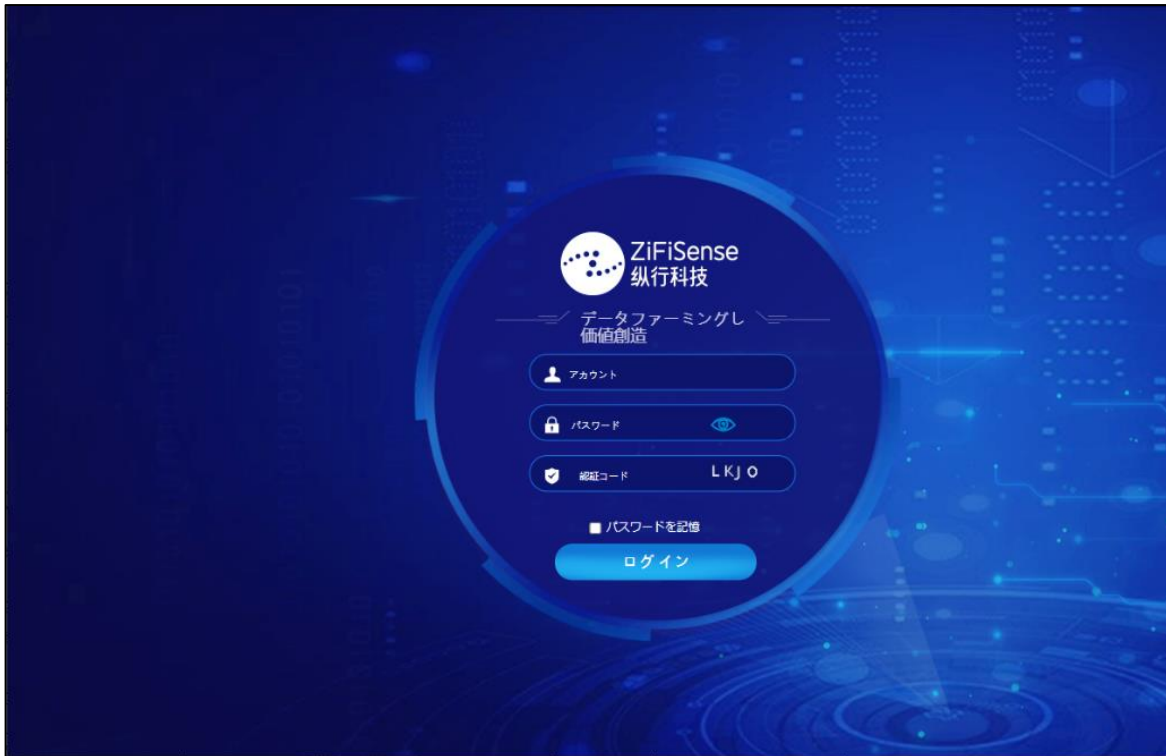


9.デバイスの設定

本製品は、ZETA Serverの管理画面に登録し、管理できます。ZETA Serverの管理画面やログイン方法について、詳しくは別紙ZETA Serverのマニュアルをご確認ください。

ZETA Server管理画面ログインURL

<https://www.zeta-cloud.com/teamcms/login>



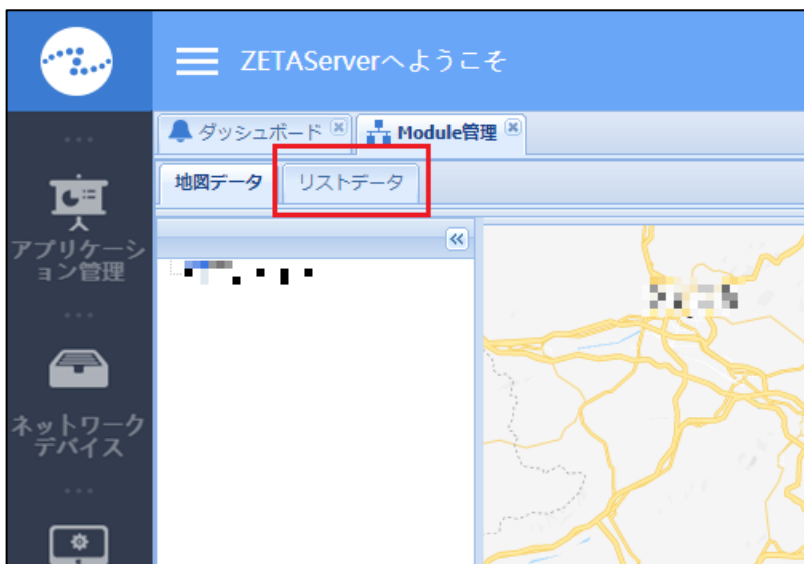
9.1 ZETA Server管理画面の設定方法

ZETA Server上でデバイスを管理するためにはZETA Server上にデバイスの情報を追加する必要があります。

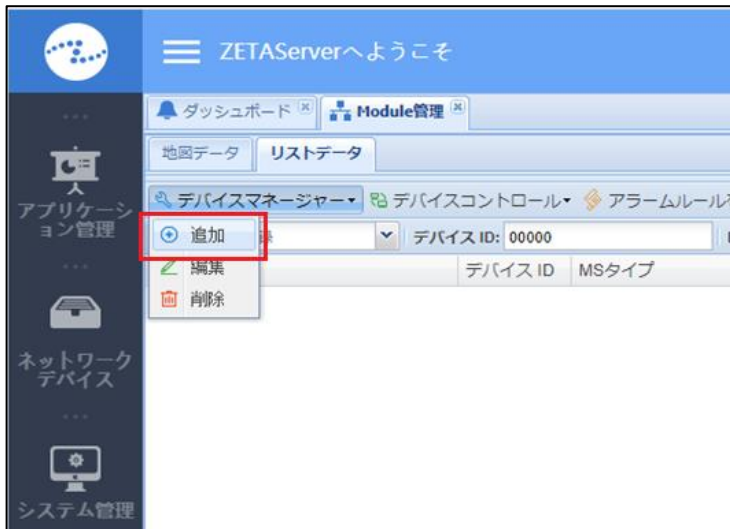
- ① ZETA Serverの管理画面から「ネットワークデバイス」→「Module管理」画面を開き、「Module管理」画面を表示します。



- ② 「Module管理」画面の「リストデータ」タブを開きます。



- ③ 「リストデータ」タブ内にある「デバイスマネージャー」をクリックし、リストから「追加」を選択します。



- ④ 「MS情報」ダイアログが表示されますので、必要事項を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

 A screenshot of the 'MS情報' (MS Information) dialog box. It contains several input fields: '企業' (Company) with a dropdown menu, 'デバイス ID' (Device ID) with a text input field containing '入力UID', 'Device alias' with a text input field containing '入力 device alias', and '住所' (Address) with a text input field. On the right side, there are fields for '認証キー' (Authentication Key) with the placeholder '8桁の16進数を入力', '暗号化キーと復号化キー' (Encryption and Decryption Key) with the placeholder '16桁の16進数を入力', and 'MSタイプ' (MS Type) with a dropdown menu. At the bottom, there are three buttons: '保存' (Save), '取り消し' (Cancel), and 'リセット' (Reset). The '保存' button is highlighted with a red box.

表 MS情報入力項目一覧

項目名	入力値
企業	リストからお客様企業名を設定します。
デバイスID	本体、パッケージ、保証書に貼られているシリアル番号(バーコード下の8文字の英数字)を入力します。
Device alias	本製品に関する情報を自由に入力します。
住所	入力欄をクリックすると地図や住所入力欄が表示されますので、建物の場所を検索して入力します。
認証キー	アクセス認証が必要な場合に入力します。
暗号化キーと復号化キー	暗号化されている場合に入力します。
MSタイプ	「温度センサ(TZZTZT)」を選択します。

※ 「Device alias」は「デバイスID」の入力時に同じ文字列が入力されますが、識別のために任意の文字列の入力もできます。

※ 「認証キー」、「暗号化キーと復号化キー」はご購入時に「セキュリティあり」を選択されている場

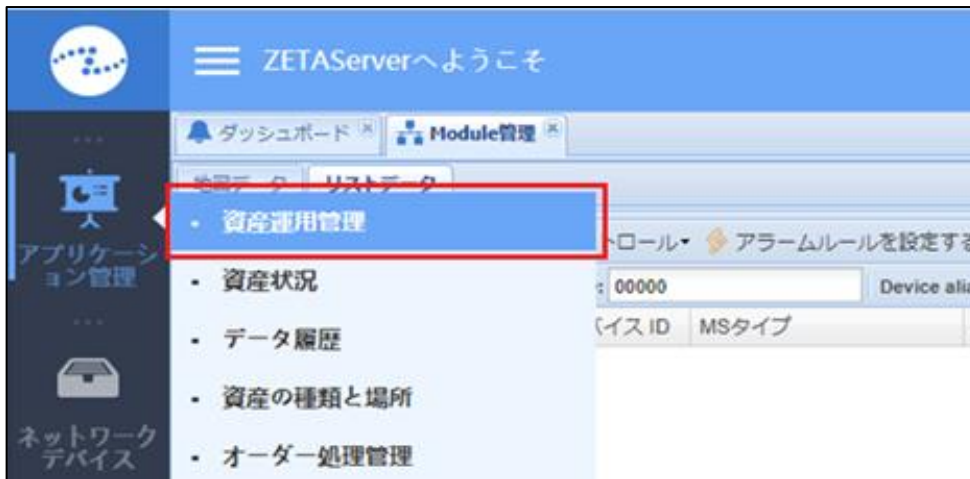
合に必須な情報となります。

9.2 アプリケーション管理

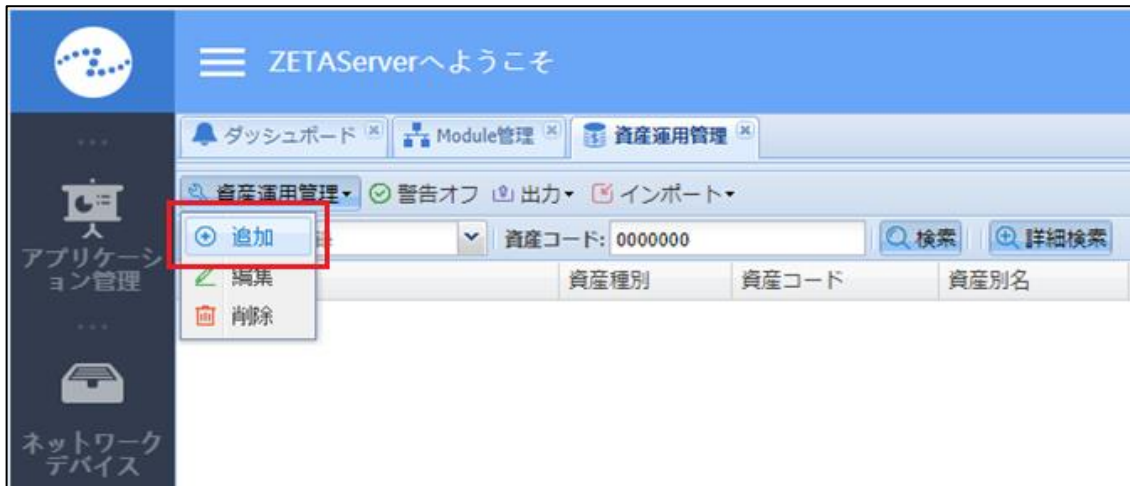
ZETA Serverのアプリケーション管理を利用し、ZETA Serverに登録したデバイスの情報確認やアラーム閾値等の設定ができます。アプリケーション管理を利用するには、デバイスの情報を資産運用情報として登録する必要があります。

9.2.1 資産運用情報の登録

- ① ZETA Serverのトップページから「アプリケーション管理」→「資産運用管理」で「資産運用管理」画面を表示します。



- ② 「資産運用管理」のリストを表示し、「追加」をクリックします。



- ③ 資産運用情報の項目をすべて入力し、「保存」ボタンをクリックします。項目はすべて入力必須です。

表 資産運用情報の入力項目一覧

項目名	入力値
企業	リストからお客様名を選択します。
資産コード	資産を管理する番号等を入力します。自由に入力できます。
資産別名	資産の名称等を自由に入力できます。
資産種別	資産の分類を設定して入力します。
ロケーションレベル 1	設置場所(建物名等)を入力します。
ロケーションレベル 2	設置場所(部屋名等)を入力します。
ロケーション	デバイスの設置場所を入力します。地図上から指定できます。
Dデバイスタイプ	デバイスタイプを選択します。ここでは「MS」を選択します。(センサー設定時→「MS」を選択、中継器などのMote設定時→「Mote」選択)
取付装置	Module管理で登録したデバイスを選択します。リストに表示されたデバイスをチェックして選択します。デバイスは検索して選択できます。この項目を正しく選択しない場合、デバイスと資産が関連付けできません。ご注意ください。

- ※資産別名は資産コード入力時に同じ文字列が入力されますが、識別のために任意の文字列を入力することも可能です。
- ※取付装置が正しく設定されていない場合、ZETA Server上で設定した情報が正しく反映されない場合があります。必ず正しいセンサーを選択してご使用ください。

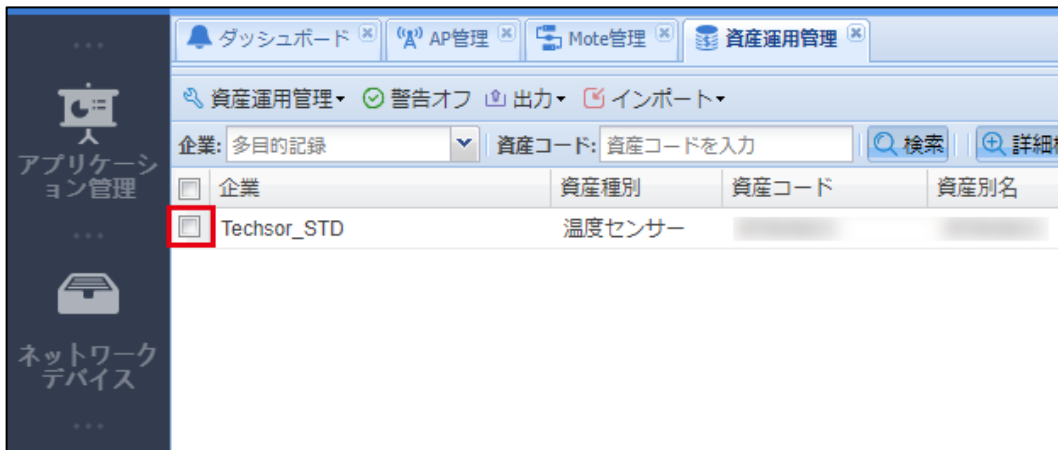
9.2.2 設定変更

資産管理画面上でデバイスのアラーム等の設定や設定情報の確認ができます。

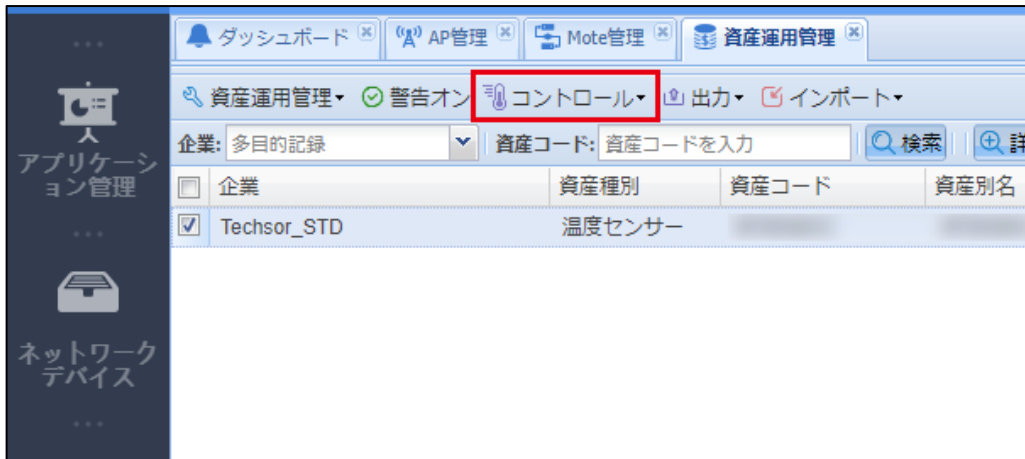
- ① ZETA Serverのトップページから「アプリケーション管理」→「資産運用管理」で「資産運用管理」画面を表示します。



- ② 設定を行うセンサーにチェックを入れます。



- ③ 「コントロール」を選択してリストを表示します。



- ④ 表示されたリストから設定したい項目を選択します。項目については以下の表をご覧ください。

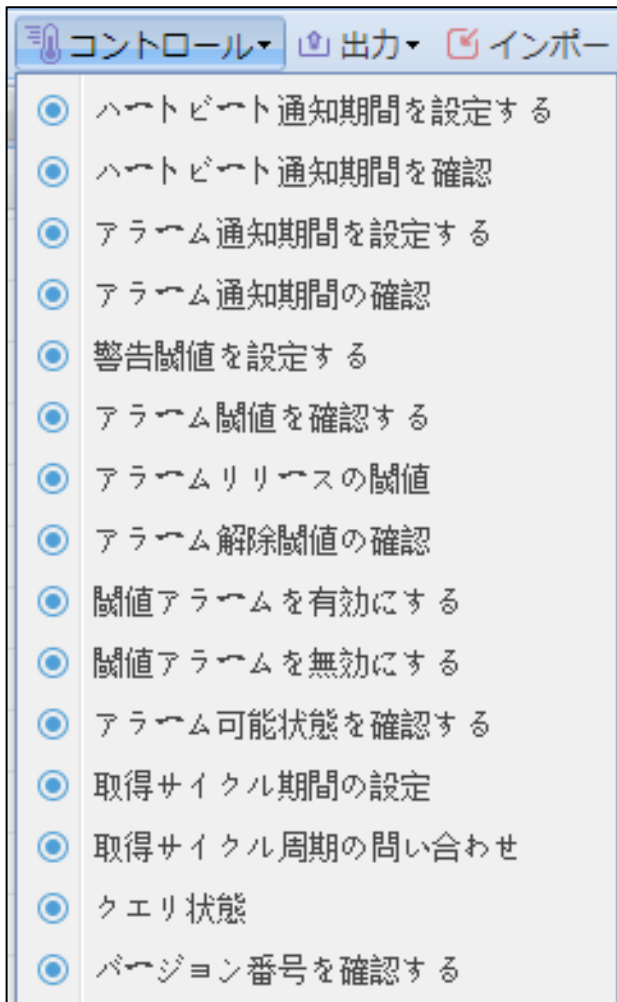


表 コントロール項目一覧

項目	説明
ハートビート通知期間を設定する	指定したセンサーが正常な状態において感知したデータをアップリンクする時間の間隔(分)を設定します。
ハートビート通知期間を確認	設定したハートビート通知期間を確認します。
アラーム通知期間を設定する	アラームの通知間隔を設定します。通知間隔(分)だけでなく、アラームの定期通知や一度通知するなどの設定が選択できます。
アラーム通知期間の確認	アラーム通知間隔に設定した時間を確認します。
警告閾値を設定する	アラームを通知する値を設定します。上限値や下限値の両方を設定、またはどちらか一方だけを設定することができます。
アラーム閾値を確認する	既に設定されているアラーム閾値の値を確認します。
アラームリリースの閾値	現場環境が不安定な場合、検知が短時間に変動することで電池消耗が早くなることがあります。これを回避するためにアラーム通知の許容範囲を設定します。既定値は0に設定されています。
アラーム解除閾値の確認	アラーム解除の閾値を確認します。
閾値アラームを有効にする	閾値アラーム(閾値警告)を有効にします。
閾値アラームを無効にする	閾値アラーム(閾値警告)を無効にします。
アラーム可能状態を確認する	現時点でのセンサーのアラーム機能が有効になっているか無効になっているかを確認します。
取得サイクル期間の設定	センサーが感知したデータを取得する間隔(秒)を設定します。設定範囲は1~65535秒です。また、リアルタイムでデータを取得することも選択できます。 ※リアルタイムで取得の場合、電池の消費量が大きくなります。
取得サイクル周期の問い合わせ	現時点でのデータの取得サイクルを確認します。
クエリ状態	設定を行わずにセンサーが感知した状態を取得することができます。
バージョン番号を確認する	センサーのバージョン番号が確認できます。

※センサーの種別によってリストに表示される項目は異なります。

9.2.3 資産状況

ZETA Serverに登録したデバイスの状況を地図上や履歴データとして表示できます。

地図上での表示

- ① ZETA Serverの管理画面から「アプリケーション管理」→「資産状況」をクリックします。
- ② 「地図データ」タブをクリックします。登録デバイスをアイコンとして地図上に表示します。



- アイコンをクリックするとデバイスの詳細情報が表示されます。
- 正常な状態のデバイスは緑色のアイコンで表示されます。
- アラームが通知されているデバイスはアイコンが赤くなり、地図上でバウンドして表示されます。

履歴データ

ZETA Serverの管理画面から「アプリケーション管理」→「データ履歴」をクリックします。登録デバイスの履歴をすべて表示します。

資産別名	ロケーションレベル	位置	資産コード	資産別名	資産種別	Dデバイス...	取付装置	状態	データ	アラームタイプ	通知時間
レベル2	日本、〒...		4F0		MS			正常	1		2021-04-14 10:28:01
レベル2	日本、〒...		4F0		MS			警告		温度警報	2021-04-14 10:25:43
レベル2	日本、〒...		4F0		MS			警告		温度警報	2021-04-14 10:25:07
技術本部	日本、〒...		12		MS	4		正常	0		2021-04-14 10:25:04
レベル2	日本、〒...		4F		MS	4F		正常			2021-04-14 10:25:00
レベル2	日本、〒...		4F		MS	4F		正常			2021-04-14 10:24:49
manager2	日本、〒...		4F		MS	4F		正常			2021-04-14 10:24:22
2	日本、〒...		4F0		MS	4F		正常			2021-04-14 10:23:22
レベル2	日本、〒...		4F0		MS	4F		正常			2021-04-14 10:23:18
レベル2	日本、〒...		4F0		MS	4F		正常			2021-04-14 10:23:01
レベル2	日本、〒...		4F0		MS	4F		警告		温度警報	2021-04-14 10:22:43
レベル2	日本、〒...		4F0		MS	4F		警告		温度警報	2021-04-14 10:22:39
レベル2	日本、〒...		4F0		MS	4		警告		警告	2021-04-14 10:22:34
レベル2	日本、〒...				MS			正常			2021-04-14 10:22:28
レベル2	日本、〒...				MS			警告		温度警報	2021-04-14 10:22:09
レベル2	環境モニタリング		4F0a		MS			警告		警告	2021-04-14 10:22:03

- アラームが表示されている行は赤く表示されます。
- デバイスの資産番号や資産別名、資産タイプ等で表示を絞り込むことができます。

10.主な製品仕様

製品型番		TZZTZT92
無線機能	通信規格	ZETA
	周波数帯	920～928MHz
	送信電力	13dBm (20mW)
電源	使用電池	ER14505 電池(単 3 形)×2
	待機電流	≦5 μ A(ACKダウンリンクモード)
	動作電流	≦70mA
製品仕様	サイズ	66×55×36mm(突起部、ケーブル除く)
	本体材質	ABS
	アンテナ	5cmスティックアンテナ
センサー	ケーブル長	2m
	温度検出範囲	-55°C～125°C
	温度検出精度	±0.5°C(-10°C～85°C)
動作環境	動作温度	-20°C～75°C
	保管温度	-30°C～85°C
	設置場所	屋内専用(屋外での使用不可)

電波法 工事設計認証番号: 006-001024

電気通信事業法 認証番号:D21-0033001

※すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

11.トラブルシューティング

故障かなと思ったら以下を確認してください。

端末がZETA Serverに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ センサーの電源スイッチがオンになっているか確認してください。 ・ ZETA Serverから削除して、もう一度ZETA Serverに登録し直してください。 ・ 電池残量がなくなっている場合は、センサーの電池を交換してください。
センサーはどのくらい待てば接続されますか？	<p>プロトコルによりますが、以下を目安としてください。</p> <p>ZETA-Pの場合：電源を入れてから1～10分</p> <p>ZETA-Sの場合：電源を入れてから3～30分</p> <p>※上記の時間お待ちいただいても接続されない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。</p>
電源オンの確認はどのようにすればよいですか？	ZETA Serverの画面上にて正常に稼働したかを確認してください。
電池の交換はいつ行えばよいですか？	<p>電力使用状況を確認し、低電力時に交換してください。電圧残量の目安は3.0Vです。電圧残量が3.0V以下になりましたら、電池の交換をおすすめします。</p> <p>電力使用状況はZETA Server上のアプリケーション管理を使用している場合、「ネットワークデバイス」→「Module管理」画面にて確認できます。</p> <p>市販の単3形アルカリ電池（1.5V）はご利用いただけませんのでご注意ください。</p>
温度センサー測定部のサイズはどのくらいですか？	穴直径φ8.34mm、全長58mm、管外径8mm、先端広さ14.6mmです。
センサー部分は防水ですか？	防水仕様になっていません。こちらのセンサーは屋内専用です。

12.アフターサービス

お問い合わせについて

アフターサービスについては、下記までお問い合わせください。

株式会社テクサー

〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 1-1-14 コーヂィーコート 2F 1

042-400-7582

受付時間 9:00～12:00、12:00～18:00

(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス：support@techsor.co.jp

-
- 通話中の場合、しばらくたってからおかけ直してください。
 - 電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
 - 年末年始などの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。



ZETA 温度センサー

TZZTZT92